

「ペーパーライザー」で国内外のLPガス市場を開拓する

カグラペーパーテック 玉井健一 代表取締役社長

LPガスペーパーライザー（以下、V R）メーカーのカグラペーパーテック（本社：尼崎市、玉井健一社長）は今年創業60周年を迎えた老舗企業である。国内市場シェアが現在6割を超えている。

一方で海外へも早くから進出、実績を上げてきた。更に中国上海に海外向け生産拠点を設置、世界10数ヶ国にV Rを販売している。また、L N G用V Rやアンモニア用V Rも手掛けており、高圧ガスプラント建設も行っている。簡易ガススタンドでもトップメーカーであり、災害に強いプロパン車普及にも尽力する。かつ、次世代エネルギーである水素事業にも参入、将来への備えも抜かりはない。

LPガス移充填ボンブから出発



玉井社長

当社は1958年（昭和33年）設立で今年60周年を迎えます。LPガス移充填手動ボンブでLPガス事業に参入しました。当時はLPガス事業の創生期であり、我々の技術、製品が大手LPガス元売会社に評価され、プラント建設やV R製造・販売に次々と進出していきました。創業者である父（玉井薫氏）がLPガス市場の成長性に早くから着目していたことが今に繋がっています。

その中でもV R事業は従来製品の半分まで小型化したコンパクトV R「ミニマム」やオールインワンバルクユニット「パイオ」など斬新なアイデア商品を矢張り早く市場に送り出すことで、しっかりと顧客ニーズを捉え、現在では国内シェア60%を超えるトップメーカーとなりました。この分野では他の追随を許しません。

LPガスで培った技術で天然ガスやアンモニアのV Rも製品化しており、とりわけアンモニア用V Rは火力発電所の脱炭設備に加えて、自動車生産ラインでの需要が増加、特に中国やその他新興国で飛躍的に売り上げが伸びています。

アジア市場は30年以上前から開拓
当社の海外進出は早く、LPガスV Rは60年代から輸出しています。70年代には各国に代理店を設け、中国や東南アジアで販売を開始、当時、先行する欧米メーカーと伍して高いシェアを獲得しました。その後、安価な韓国製、中国製が後発として参入、これに対抗すべく中国での現地生産を決定、2003年中国上海に生産会社である神楽燃気設備（上海）有限公司を独资で立ち上げました。

中国市場は模倣品の横行や急激な人件費上昇、度重なる法規制改定など特有の苦勞もありましたが、創業15年を迎え、安定的に利益を上げられる体制が構築出来てきました。同国市場はまだまだ成長性が高いだけに、営業力強化が当面の課題です。

中国以外の海外市場は順調に拡大を続けています。最近ではバングラーデシュや中東各国で売上が大幅に伸びており、今後はアフリカ、中南米もターゲットに据え付けているところだ。

市場拡大に対応するため、現在、有馬・上海に次ぐ第三の拠点設置も検討しています。

簡易オートガススタンドとLPガス車で新たな可能性を開拓
国内のLPガスのアプリケーション開発も進んでいます。その一つが05年に事業進出した簡易オートガススタンド（以降、簡易スタンド）。当初は法律に簡易スタンドについての明確な規定がなく、その都度行政の判断を仰ぐ必要がありました。同業の岩谷省に根気強く省令改正を働きかけ、7年に及ぶ交渉の結果、明文化が実現、これによって普及に弾みがつきました。現在

力を注いでいます。14年に策定された戦略ロードマップでは水素ステーションを20年度までに160ヶ所、25年度までに320ヶ所を整備することが計画されており、水素ステーションの保安確保は喫緊の課題となっています。事故を起こさず、保安を確保することが水素社会実現の鍵を握っているといっています。

「Energy Niche Supporter」を目指す
当社は「Energy Niche Supporter」を指す方針です。これはエネルギーの未来をニッチな分野で支える企業という意味であり、当社ならではの技術、製品で大企業が出来ない隙間を埋める役割を果たしていくことを指しています。

一方、エネルギー以外の新規事業も積極的に取り組んでいきます。特に関心があるのは「水事業」。水はエネルギー同様、人間になくてはならない存在であり、ないがしろにすれば命に関わるもの。世界的に水事業は注目されており、取り組み甲斐のあるテーマと位置付けています。

ガスレビュー

2018年7月号

カグラペーパーテック株式会社 概要

設立年月日	1958年2月18日
資本金	5,700万円
本社	兵庫県尼崎市立花町1丁目2番1号
事業所	営業所：仙台、東京、名古屋、大阪、福岡 工場：有馬（兵庫県西宮市）
製品	LPガス蒸発器・LPガス供給機器 LPガスバルク供給設備・LPガスプラント LNG 気化器

当社はLPガス設備検査で長年の実績を持つグループ会社、カグラエンジニアリング（K E）があります。K Eは行政に代わって、高圧ガス設備の保安検査を実施する資格を有しています。まずは、K Eによる水素ステーション保安検査を端緒として、将来的には水素に関わるモノづく